

教師が答える！！ダンス必修科目に関する意識調査

教師の約 8 割が経験不足や指導方法でダンス授業に困惑！

ダンスをうまく学習できていない児童・生徒が 9 割以上！？

～視力の低下・メガネの使用による運動への影響とは～

株式会社メニコン(代表執行役:田中英成、本社:愛知県名古屋市)は、コンタクトレンズ使用シーンとして親和性の高い「運動」分野の中でも、中学校で必修となったダンスに着目し「ダンス科目取り組みに関するアンケート」を実施しました。調査期間は2012年7月13日(金)～15日(日)、インターネットにより全国の20～50代の教師200名を対象にアンケートを行いました。

----- <<調査結果概要>> -----

ダンス科目必修化に関する調査トピック

◆ **児童・生徒がダンス授業をうまく学習できていないと感じる教師が9割以上！**

ダンスの学習について、「うまく学習できていない児童・生徒はいる(72.5%)」「多くの児童・生徒がうまく学習できていない(19%)」と9割以上の教師が回答しました。その理由としては、「指導力不足や、思春期ならではのほずかしさ。」「教師自身があまり得意としていない。」「リズム感に乏しい子供もいるから。」などが上げられました。

◆ **ダンス指導に困っている教師が約8割、自身のダンス経験不足で指導方法が分からず困惑・・・**
そんな教師が望む理想のダンス教材は「見るだけで簡単に楽しく学べるモノ」

「ダンスの指導について、困ったことはありますか。」との質問に対して、「困ったことがある(59.5%)」「いつも困っている(21%)」と約8割が困っていることが分かり、その理由としては、「自分自身がダンスをした経験がない」、「自身の経験不足。」「どのように指導してよいかわからない。」など自身のダンス経験の不足さや指導方法の不明点などが多いことが分かりました。また、ダンス学習において望ましい教材は「動画で学ぶことができるもの(72.0%※複数回答可)」が1番多く回答され、その次では「楽しみながら学ぶことができるもの(53.0%※複数回答可)」と回答されるなど、見るだけで簡単に楽しくダンスを学ぶことができる教材を求めている教師達の多さが垣間見れました。

児童・生徒の視力に関する調査トピック

◆ **7割以上の教師が10年前と比較して生徒の視力が悪化していると感じている！**

「10年前と比較して、今の児童・生徒は視力が悪くなっていると感じますか。」という質問に対して、「とてもそう思う(18.5%)」、「そう思う(53.5%)」と、合わせて72%の教師が10年前に比べて児童・生徒の視力の低下を感じていることが分かりました。

◆ **視力が悪くメガネをしている児童・生徒は、球技のほか体操やダンスなどを楽しめていない！？**

教師の97%が、「視力が悪くメガネをしている児童・生徒は運動しにくそう、楽しめていない」と感じるものが少なからずあると回答しました。具体的に当てはまる種目としては、「バレーボールやサッカーなどの球技(69%※複数回答可)」、次いで、「器械体操やダンスなどの室内競技(59%※複数回答可)」という結果が分かりました。

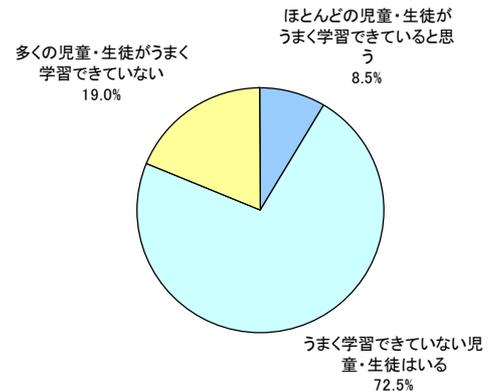
※本リリースの調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「メニコン調べ」と明記ください。

調査結果

※本リリースの調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「メニコン調べ」と明記ください。

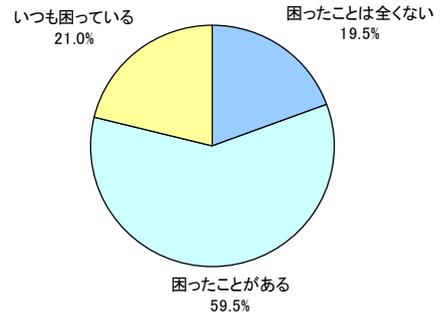
Q:ダンスの学習、特にヒップホップの学習について、児童・生徒はうまく学習できていると感じますか。

近年、ヒップホップなどの現代的なダンスが義務教育へ導入されていますが、「ダンスの学習、特にヒップホップの学習について、児童・生徒はうまく学習できていると感じますか。」という質問に対して「ほとんどの児童・生徒がうまく学習できていると思う。」と回答した教師はわずか 8.5%にとどまり、「うまく学習できていない児童・生徒はいる(72.5%)」「多くの児童・生徒がうまく学習できていない(19%)」とほとんどの教師が児童・生徒がうまく学習できていないと回答しました。



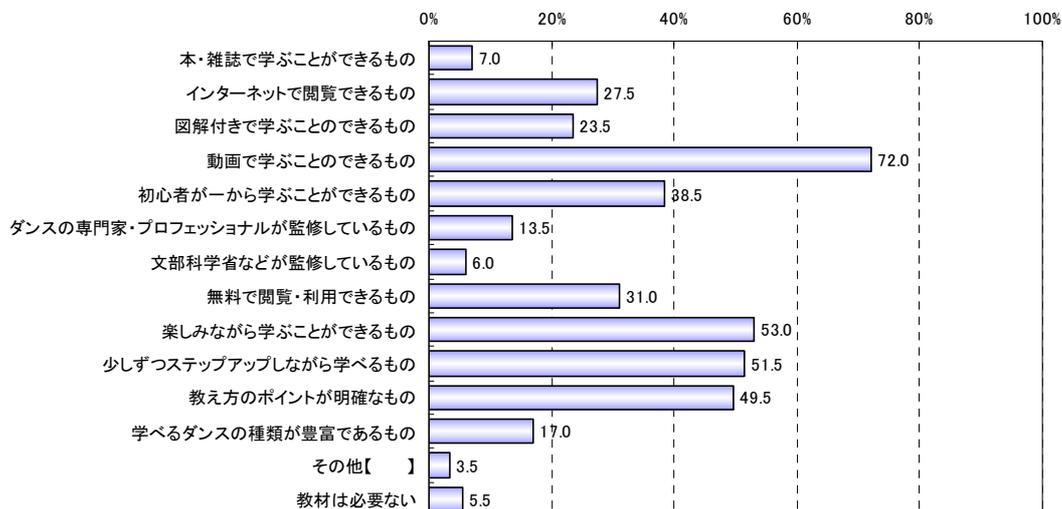
Q:ダンスの指導について、あなたご自身が困ったことはありますか。

ダンスの指導について、あなたご自身が困ったことはありますか。という質問に対して、困ったことは全くないと回答した教師は 19.5%で、困ったことがあると答えた教師が 59.5%いつも困っている 21.0%と、約 8 割の教師がダンス指導に困っているという現状が分かりました。



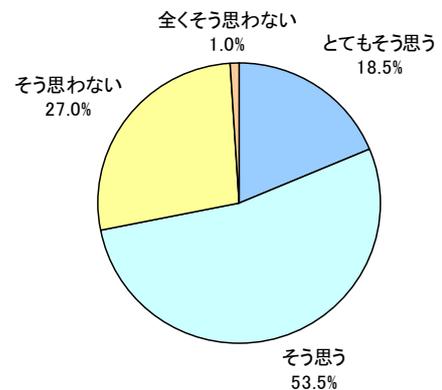
Q:児童・生徒のダンスの学習において望ましい教材は何だと思いますか。

児童・生徒のダンスの学習において望ましい教材は何だと思いますか。という質問に対して「動画で学ぶことのできるもの(72.0%※複数回答可)」「楽しみながら学ぶことができるもの(53%※複数回答可)」、「少しずつステップアップしながら学べるもの(51.5%※複数回答可)」という結果になり、動画で見ながら学べるものや楽しみながら少しずつステップアップできる教材が望まれていることが分かりました。



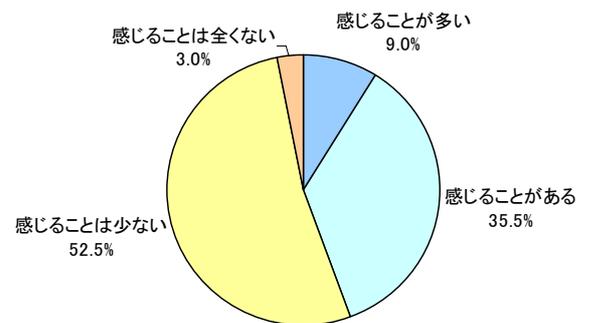
Q: 10年前と比較して、今の児童・生徒は視力が悪くなっていると感じますか。

「10年前と比較して、今の児童・生徒は視力が悪くなっていると感じますか。」という質問に対して「とてもそう思う(18.5%)」「そう思う(53.5%)」と、合わせて72%が10年前と比べると今の児童・生徒は視力が悪くなっていると感じていることが分かりました。



Q: 視力が悪く、メガネを使用している児童・生徒が「運動しにくそう」「運動を楽しめていない」と感じることはありませんか。

『視力が悪く、メガネを使用している児童・生徒が「運動しにくそう」「運動を楽しめていない」と感じることはありませんか。』という質問に対して、「感じる人が多い(9%)」「感じることもある(35.5%)」「感じることは少ない(52.5%)」と少なからず運動を楽しめていないのではないかと感じていることが分かりました。



また、上記質問に対して、視力が悪く、メガネを使用している児童・生徒が「運動しにくそう・運動を楽しめていないと感じることが多い」「運動しにくそう・運動を楽しめていないと感じることがある」と答えた方に、「具体的に、体育授業のどのような種目でそう感じますか。」と質問したところ、「バレーボール・サッカーなどの球技」と69.7%(*複数回答可)が回答し1番多く、次いで「器械体操・ダンスなどの室内競技」も59.6%(*複数回答可)と球技と室内競技が圧倒的に多く感じていることが分かる結果となりました。

(n=89)

